

令和7年度第2回 社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会(9/25) 委員意見表

資料1

意見項目	委員からの意見等	市の対応等	アンケート調査票関連箇所
アンケート調査票の変更について	現在外出する際の移動手段を聞いている設問 選択肢10の(カート)が分かりにくいため、「シニアカー」と表記を変更した方がよいのではないかと。	意見を反映した ご指摘のとおり、「電動車いす(カート)」という表現は、「(カート)」がわかりづらいため、「電動車いす(シニアカー・電動カート)」に修正してまいります。	【修正】 未認定 P.5 問17と19 要支援 P.6 問19と21 要介護 P.7 問19と21
	第9期計画のアンケート調査に高齢者のICTの活用状況を調査項目に入れたが、その調査結果を経年で追いかけて、効果的な情報発信を行うことが重要であるとする。例えば、Youtubeの情報発信力は非常に高く、視聴者も多いことから、高齢者の生きがいになっているような好事例をYoutubeで発信し、広く周知するような取組を行っても面白いのではないかと。また、Youtubeの作成自体も高齢者にしてもらうことも面白い取組かもしれない。	意見を参考とする ご指摘のとおり、高齢者のICTの活用状況については、他の調査や通いの場での聞き取り等を含め、経年で分析し、その結果に基づき、Youtubeの活用を含めた効果的な情報発信手法について検討してまいります。	【関連】 未認定 P.7 問26 要支援 P.8 問28 要介護 P.3 問9
	「新しい認知症観」についての調査項目を追加してもらえたのは嬉しく思うが、(1つに○)でいいのか、(あてはまるものすべてに○)の方がいいのか迷うところである。また、認知症といっても様々な症状があるため、1～6までの事例でいいのかも難しいが、内閣府が行っている「認知症に関する世論調査」で同様の調査を実施しているのであれば、その調査との結果比較が可能となるため、今回は国調査と内容を合わせて調査を行ってもいいかもしれない。	意見を反映した ご指摘のとおり、国の「認知症に関する世論調査」の調査項目と合わせることで、本市の調査結果と国の調査結果の「新しい認知症観」のイメージや「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の認知度を比較し、今後の認知症の理解を深めるための普及・啓発に向けた取組の参考とさせていただきますと考えております。また、複数の選択肢のイメージを持っている人が多いことが予想されることから、(イメージに最も近いもの1つに○)といったことを強調して、記載したいと考えております。	【修正】 未認定 P.8 問29 要支援 P.8 問31
	「新しい認知症観」についての調査項目だが、複数の選択肢のイメージを持っている人が多いことが予想されることから、(1つに○)といったことを強調した方がよいのではないかと。		
	スライド18の「生涯現役で」という言葉は「労働力としてずっと貢献し続ける」といった印象を与えるため、「いくつになっても」といった文言に修正した方がよいのではないかと。	意見を反映した ご指摘のとおり、「生涯現役で」という表現は、一般就労という意味にもなるため、「いくつになっても」に修正してまいります。	【修正】 未認定 P.11 問42 要支援 P.12 問44
	スライド18の「ゆるくはたらくしごと」という言葉を「ゆるく自分のペースではたらくしごと」といった文言に修正した方がニュアンスが伝わりやすいのではないかと。	意見を反映した ご指摘のとおり、「ゆるくはたらくしごと」という表現は、どういふことかわかりづらいため、「自分のペースで無理せずにはたらくしごと」に修正してまいります。	【修正】 未認定 P.11 問42 要支援 P.12 問44
	スライド18の回答2の「地域の高齢者へのゴミ捨てや買い物支援」とあるが、「高齢者＝ゴミ捨て」の並びが近すぎるように感じることから、「地域の高齢者への買い物やゴミ捨て支援」にする方がよいのではないかと。	意見を反映した ご指摘のとおり、「地域の高齢者へのゴミ捨てや買い物支援」という表現は、どういふ支援かわかりづらいため、「地域の要支援者等に対する買い物やゴミ捨て等の生活支援」に修正してまいります。	【修正】 未認定 P.11 問42-1 要支援 P.11 問44-1
	健康維持、増進するための教室等の参加意向や、生きがいを感じるものの調査については、第9期計画の調査時にも分析されていたが、性別でクロス集計を行い、特に男性高齢者の社会参加や生きがいを感じることをヒントに取組を進めてほしい。	意見を参考とする ご指摘のとおり、男性高齢者の社会参加・生きがいの把握は課題と考えており、それらに関連する調査項目を分析し、性別等での傾向を把握することにより、男性高齢者の社会参加等の取組について検討してまいります。	【関連】 未認定 P.15 問60 要支援 P.20 問69 要介護 P.13 問35
	「人生最期の迎え方について、延命治療を望むか」という設問だが、回答者のほとんどが「望まない」といった回答であったように記憶し、経年で調査をしても、ほとんど結果に変化があるようには思えないため、項目を削除してもよいのではないかと。	意見を参考とする 医療・介護連携の取組である高齢者が今後の暮らし方や人生の最終段階におけるケアについて自ら考え家族や関係者と共有する「人生会議」においては、第9期計画の主な取組の方向性に基づき、医療・介護連携協議会において、「人生最期の迎え方」などの普及・啓発を行っているところであり、「人生最期の迎え方について」の設問については、現在のところ、経年での変化がない調査項目ではありますが、今後の回答状況の把握や経年での変化の確認を含め、調査項目に必要と考えております。	【関連】 未認定 P.18-19 問67～69 要支援 P.21-22 問71～73 要介護 P.14 問37～39
	「人生最期の迎え方について、話し合ったことはあるか。」「今後、話し合いたいのか。」という設問についても、経年で調査をしても、ほとんど結果に変化があるようには思えないため、項目を削除してもよいのではないかと。	意見を反映した 自分の気持ちを受け止めてくれる人や、相談できる人がいないといった選択肢はありましたが、見守りや何かあったときの駆けつけを行ってくれる人がいないといった選択肢は無かったことから、「自分に何かあったときに、駆けつけしてくれる人がいない」という選択肢を追加します。	【修正】 未認定 P.19 問70-1 要支援 P.22 問74-1 要介護 P.15 問40-1
終末期サポートのニーズが急速に高まることを踏まえ、そのニーズの内容を的確に把握できるよう調査項目の見直しが必要ではないかと考えることから、「民間の終末期サポートサービスに対する認知程度と利用意向」「行政サービスに対する期待意向(相談窓口、専門業者への仲介等)」のニーズを調査する項目を新たに設けてもいいのではないかと。	意見を反映した 「人生最期を迎えるにあたって気がかりがある」と答えた人の「気がかりだと感じること」と設問の選択肢に、「身寄りがいないため、日常的な金銭管理等の生活支援や意思決定支援などをしてくれる人がいないこと」といった項目を追加するとともに、「今後、市の高齢者対策として力を入れてほしいと思うこと」という設問の選択肢に、「身寄りのない高齢者などに対する日常的な金銭管理等の生活支援や意思決定などの支援」という項目を追加することで、ニーズを把握してまいりたいと考えております。	【修正】 未認定 P.19 問70-1 未認定 P.20 問71 要支援 P.22 問74-1 要支援 P.23 問75 要介護 P.15 問40-1 要介護 P.16 問41	

意見項目	委員からの意見等	市の対応等	アンケート調査票関連箇所	
介護人材実態調査について	外国人留学生が介護職に就いているケースもあるが、その人数は入れなくていいのか。	意見を反映した	外国人職員数の記載注釈については、介護職に就くことができる在留資格であるEPA、技能実習、在留資格「介護」、特定技能の4つを記載していましたが、在留資格「留学」であっても「資格外活動許可」を得ることで、週28時間以内のアルバイトが可能となることから、在留資格「留学」を追記してまいります。	【修正】 事業所票(施設・通所系) P.3 問6 事業所票(訪問系) P.3 問5
	介護事業所の現状については、事業所の規模によって差異が生じる可能性があるため、事業所の規模を把握し、クロス集計を取った方がいいのではないかと。	既に盛り込み済み	事業所の規模については、スライド46の介護職員総数を設問において、把握することから、その結果に基づき、事業所規模別のクロス集計を実施してまいります。	【関連】 事業所票(施設・通所系) P.3 問6 事業所票(訪問系) P.3 問5
	退職(転職)された理由を聞く調査項目の中に、セクハラ・パワハラがあって退職したという項目を設定しているが、仮にもセクハラ・パワハラを理由に退職したという回答があれば、それは事前に予防等の対策を取れていないという捉え方もできる。この調査項目は非常にナイーブな項目ではないか。	意見を反映した	ご指摘の内容については、改めて、各委員の皆様と協議をさせていただき、スライド43・61とも「2 職場の人間関係、雰囲気(同僚、上司との人間関係等)」に修正してまいります。	【修正】 事業所票(施設・通所系) P.5 問11 事業所票(訪問系) P.5 問10
	スライド61の職員票では、退職(転職)された理由を聞く調査項目の中に、セクハラ・パワハラ等の職場内のハラスメントという項目を分けて聞いているが、セクハラ・パワハラ等の職場内のハラスメントへの対策は非常に重要であり、事業所票でも分けて聞くべきではないか。	意見を参考とする		
	セクハラ・パワハラ等については、「職場の人間関係、雰囲気」に含まれているため、わざわざ記載しなくてもいいのではないかと。	意見を反映した		
	「11 結婚・出産等のライフイベント」と「12 子育て」を一つの項目にできるのか。例えば、「結婚・出産・子育て等のライフイベント」といった統合案もある。	意見を反映した	ご指摘のとおり、「結婚・出産」と「子育て」を分けて集計する必要性が低いことから、「11 結婚・出産・子育て等のライフイベント」に修正してまいります。	【修正】 事業所票(施設・通所系) P.5 問11 事業所票(訪問系) P.5 問10
	訪問系サービスについては、利用者やその家族等からセクハラ・カスハラ等のハラスメントを受ける可能性もあることから、スライド45の介護人材確保・定着等に対する支援についての【労働環境・処遇の改善に向けた取組】の中に、複数人で訪問できるような取組も追加してもいいのではないかと。	意見を反映した	介護人材確保・定着等に対する支援の設問項目については、介護人材確保・定着の財源である「地域医療介護総合確保基金」の支援メニューに限定して記載していましたが、ご指摘の内容については、令和元年度から「訪問看護師・訪問介護員安全確保事業」を開始し、利用者やその家族等の同意が得られず、2人以上での訪問が必要な場合に、2人訪問加算相当分を補助する取組を実施していることから、項目に追加してまいります。	【修正】 事業所票(訪問系) P.7 問12
	スライド49の外国人労働者を受け入れる予定の調査で、「1. 受け入れたい」「2. 受け入れたくない」の間に、「受け入れたいが、具体的な予定はない」というニュアンスの選択肢を追加すれば、より事業所がどのような検討状況なのか分かるのではないかと。	意見を反映した	ご指摘のとおり、事業所の具体的な検討状況を把握するため、「受け入れたいが、今は受け入れられない」を追加してまいります。	【修正】 事業所票(施設・通所系) P.9 問15 事業所票(訪問系) P.9 問14
	外国人介護人材を雇入れしたことがない事業所に向けて、既に雇入れしている事業所の好事例などを周知してあげることで、これから外国人介護人材の雇入れを検討している事業所への不安払しょく等につなげることができるのではないかと。	意見を参考とする	ご指摘の内容については、外国人介護人材の受け入れの仕組み、施設職員・外国人職員の体験談などを説明し、事業所の疑問や不安を解消するため、県事業で「外国人介護人材受入促進セミナー」等が開催されております。今後、これらの事業を広く周知する手法を検討するとともに、スライド50で外国人介護人材を受け入れたくない理由の結果等を分析する中で、支援策等について検討してまいります。	【関連】 事業所票(施設・通所系) P.9 問15-1 事業所票(訪問系) P.9 問14-1
	介護事業所が求める人材像と実際採用に至っている人材とのミスマッチが生じているような事項についても、調査項目に落とし込めないかと。	既に盛り込み済み	スライド55の事業を運営する上での問題等の設問では、「今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない」「良質な人材の確保が難しい」という調査項目を設定し、求める人材と現実とのギャップを把握するとともに、ハローワークなどの関係機関にも介護人材確保に係る現状の聞き取りを行いながら状況の把握に努めてまいります。	【関連】 事業所票(施設・通所系) P.11 問19 事業所票(訪問系) P.11 問18
スライド59だが、選択肢「2. 介護以外の職場」を一番下段に配置した方が答えやすいのではないかと。	意見を反映した	ご指摘のとおり、直前の職場はいずれかの介護事業所が想定されることから、「1. 現在の職場が初めての勤務先」、「2. 介護以外の職場」を一番下段に修正してまいります。	【修正】 職員票(訪問系) P.2 問3-1	
スライド68だが、対面での研修・講習会に参加しやすい時間帯等を聞くだけでなく、オンライン等の時間帯もあわせて聞いておくべきではないかと。	意見を反映した	ご指摘のとおり、研修や講習会等に参加する場合、対面とオンラインで参加の可否に異なる回答となることが想定されることから、「対面」と「オンライン」に分けた調査項目に修正してまいります。	【修正】 職員票(訪問系) P.7 問11	